



平成24年度

ひがたま学校保健委員会報告

平成25年3月21日

和みの学び舎

世田谷区立東玉川小学校

2月23日(水) ランチルームにて「平成24年度ひがたま学校保健委員会」が行われました。校医・学校薬剤師・保護者・教職員合わせて35名の参加をいただきました。



1 配付資料についての説明

- 養護教諭 福岡久美子・・・計測時に学級ごとに保健指導を行っている。来室状況は、軽度の打撲による来室が多い。相談や調べ学習等の保健室利用もある。
- 体育主任 金澤功雄・・・体力テストの結果、「走る」「投げる」「握る」は、平均を下回っていた。体を動かす機会を増やし、運動への苦手意識を減らしたい。
- 栄養士 松岡明子・・・食物アレルギーのあるお子さんには、保護者との個別面談を行い主治医の指示でアレルギー食物の除去対応をしている。

2 東玉川小の児童の健康について

- 内科校医 黒田道郎・・・本校の児童は、とても元気だという印象がある。
1月下旬にインフルエンザが流行し、学級閉鎖の助言をした。
- 耳鼻科校医 島田信吾・・・健康診断で耳垢が気になる子どもがいる。耳の中を不適切に触ると外耳炎になることがあるので、とりにくい耳垢は耳鼻科を利用してもらいたい。
- 眼科校医 三原美智子・・・家の中で遊ぶことが多いと近くばかり見ることになるので近視になりやすい。休憩をはさみながら目を使ったり、外で遊んだりすることも近視を防ぐことにつながる。
- 歯科校医 保母 愛・・・本校のむし歯は、年々減少している。家庭では仕上げ磨きなども含め、歯みがき習慣が定着するよう見守ってもらいたい。高学年に歯肉炎が目立つ。塾の前後に食事をして、帰宅が遅くなって歯みがきをせずに眠ってしまうことも考えられる。
- 学校薬剤師 堀 匡志・・・学校でのダニ検査では、ほとんど検出されなかった。家庭ではこのような結果にはあまりならず、多くのダニが検出される。ダニを防ぐためには、部屋に風を通して掃除機をかけることが大切。

3 健康ミニ会議

テーマ「SST 心とことばの学習」



① 本校の「SST心とことばの学習」についての説明

「あいさつ」「伝える」「聴く」「ストレス」「ルールと協力」の5つの柱で、学年に応じた内容でSST(ソーシャルスキルトレーニング)を、本年度より行っています。

ソーシャルスキルとは

対人関係を円滑に運ぶための知識とそれに裏打ちされた具体的な技術やコツを総称したもの。

② 15分間の模擬授業「怒りの温度計（ストレス対応）」授業者…荒川教諭

③ グループワーク

東玉川小学校のSST「心とことばの学習」で、一番取り上げてほしい項目を「1」として、1～5番までをアンケートに各自で記入してもらいました。

記入した後、4人1組のグループで1番に選んだ項目を選んだ理由について話し合いました。

下記の表は、参加者のアンケートより1位を5点、2位を4点、3位を3点、4位を2点、5位を1点として合計し、順位をつけたものです。



学校で取り上げたいソーシャルスキルは？

項 目		総合順位	合計点数
①	上手にあいさつをする。	4位	36
②	上手に自己紹介をする。		0
③	上手に相手の話を聴く。	2位	46
④	上手に質問する		0
⑤	遊びなどの仲間に入れてもらう。		9
⑥	遊びなどの仲間にさそう。		15
⑦	はげまし、なぐさめなどのあたたかい言葉をかける。	5位	34
⑧	相手の気持ちを考えて接する。	1位	66
⑨	自分にとっていやなことやできないことを上手に断る。		30
⑩	自分の意見や考えをはっきりと伝える。		28
⑪	誤解や意見の食い違いなどのトラブルを上手に解決する。		33
⑫	イライラしたり、ドキドキしたりした気持ちをコントロールする。	3位	37
他	(自由記述) 自分を大切にする 思いやりのある言動 友だちや自分のいいところを探す 相手によって態度を変えない公平な接し方 自分の気持ちを知る 等		13

※この健康ミニ会議の話し合いの結果は、来年度に向けて「心とことばの学習」の指導内容を見直しをする際に参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

3 感想の一部（保護者より）

- ・子ども達の体のこと、心のことを先生方が一生懸命考えてくださっていることが、よく分かりました。ソーシャルスキルトレーニングの取り組みをもっと保護者に広めて欲しいと思います。
- ・楽しかったです。怒りの温度計、とても参考になりました。
- ・せっかく PTA 役員、学第、保護者等も出席しての会であるので、年頭で今年の目標はこれで行くというものを決めて、先生側、PTA 側、保護者側と、いろいろな立場や角度から声かけや取り組みをしてもよいのではと思います。
- ・子ども達の日常の場面を具体的に想定したトレーニング（あいさつ、言葉、行動など）をできると、少しずつ生活の中で実践できそうだと自分でも短時間ながら SST を受けて思いました。